

# 平成24年度病害虫発生予察注意報第1号

平成24年6月4日  
愛知県

作物名：ナシ  
病害虫名：黒星病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 平年並
- 3 発生程度 多い
- 4 注意報発令の根拠

(1) 5月下旬の巡回調査において、31ほ場を調査したところ、県内各地の14ほ場でナシ黒星病の発生を確認した。発生状況は、発生ほ場率45.2%、発病葉率0.84%、発病果率1.55%（平年：発生ほ場率12.9%、発病葉率0.23%、発病果率0.34%）と、過去10年間と比較して発生ほ場率、発病果率は最も高く、発病葉率は2番目に高かった。

(2) 向こう1か月の気温、降水量ともに平年並と予想される。また、東海地方における平年の梅雨入りは6月8日ごろである。

## 5 防除上注意すべき事項

- (1) 発病した葉や果実は伝染源となるので取り除き、園外へ持ち出すなど処分を徹底する。
- (2) 薬剤感受性の低下を避けるため、同一系統薬剤の連用を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する（下表参照）。
- (3) 農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

表 ナシ黒星病に対する主な防除薬剤

系統	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
A	ベルコートフロアブル	1,500倍	収穫14日前まで	5回以内
B	スコア顆粒水和剤	4,000倍	収穫14日前まで	3回以内
B	オーシャイン水和剤	3,000~4,000倍	収穫前日まで	5回以内
C	オキシラン水和剤	500~600倍	収穫3日前まで	9回以内
D	アミスター10フロアブル	1,000~1,500倍	収穫前日まで	5回以内
D	ストロビードライフロアブル	3,000倍	収穫前日まで	3回以内
E	アフェットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	3回以内

系統名 A：グアニジン系、B：EBI系、C：有機塩素系+有機銅、D：ストロビルリン系  
E：チオフェン系

## 6 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室  
電話：0561-62-0085（内線471）